

第4回 議会活性化検討特別委員会 会議録

日 時 令和5年3月7日（火曜日） 午後4時44分 ～ 午後4時58分
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 戸匹 映二	副委員長 伊藤 淳	
委 員 川辺 隆	委 員 匹田久美子	委 員 内藤 康弘
委 員 大塚 州章	委 員 武生 博明	

欠席委員の氏名

（ な し ）

オブザーバー

議 長 梅田徳男

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英	次長 後藤秀隆	書記 高橋悠樹	主査 大井智香子
---------	---------	---------	----------

傍聴者

（ な し ）

会議に付した事件

1. 報告書について
 2. その他
-

午後4時44分 開議

◎委員長（戸匹映二）

ただいまから、第4回特別委員会を開催いたします。本日の協議事項は、お手元にあります次第のとおり2点ですが、その前に議長より発言がありますのでお聞きください。

◎議長（梅田徳男）

前回の会議で、皆様には議会基本条例の運用に関して検討をして頂き、課題となっていた5つの項目について、その方針を決定して頂きました。

また、今後の具体的な内容に関する検討は、新たな特別委員会等の協議体を設置して、協議していきたいという方向性を、先日の全員協議会の中でもお話をさせて頂きました。

しかし現在、臼杵市議会として様々な課題をかかえておりまして、特に旧野津高校の関係は新たに調査を行う委員会を立ち上げる計画もありますし、議会活性化に向けては今後も切れ目なく、具体的な取り組みを推進していくことが必要だと感じ、少し頭を悩ませました。

いろいろと考えた結果、今後も具体的な内容まで、この委員会を継続して検討していても良いのではないかと考えました。新たな特別委員会を今定例会で設置するのではなく、この委員会の体制で、早期の課題解決に向けて進んだほうが良いと思い、本日の委員会で、この点についてご協議いただきたいと思います。よろしくお願いします。

◎委員長（戸匹映二）

今回の会議は、この特別委員会を終了する方向で報告書の確認に集まっていた頂き、報告書を確認の後、本委員会の終了について、皆さんにお諮りする予定としていましたが、ただ今、議長からありました通り、今後も継続して本委員会で具体的な内容を協議してはどうかとの提案がありましたので、まずは、これに対して皆さんのご意見をお伺いしたいと思います。

◎委員（大塚州章）

非常に良いことだと思います。ただ、これ1年後に常任委員会の編成が変わると、正副委員長として残していくのか、このメンバーを残すのかどちらですか。

◎議長（梅田徳男）

個々の委員として残るのが本来だと思います。ただ、その時の委員会構成なりで、また検討が必要になることはあると思います。

◎委員（匹田久美子）

ここにいない方や無党派の方が、この委員会に入りたいという強い希望があった場合はどうなりますか。

◎委員長（戸匹映二）

この委員会の構成は、各常任委員会の正副委員長です。ですので、具体的な内容を詰めていくうえで、その内容を下におろしていく場合は、各常任委員会の部会におろすという形にしたいと考えています。

◎議長（梅田徳男）

特別委員会という形で設置していますので、例えばAさんが入りたいならどうぞという話にはなりませんので、ご認識を。

◎委員（川辺 隆）

本委員会を継続することに賛成します。市民との意見交換会は前からやっていて、議会基

本条例ができましたけど、元々やっていたことが議会基本条例の中にあるわけですから、各常任委員会の正副委員長がここに揃っていますので、1年後に常任委員会のメンバーが変われば、それに応じて委員長が対応していくべきだと思います。

◎委員長（戸匹映二）

それでは、議長提案の通り本委員会は継続して、議会基本条例の運用に関し、具体的な内容を協議していくことに、ご了承いただけますでしょうか。

（ 「異議なし」の声 ）

◎委員長（戸匹映二）

ご了承をいただきましたので、今後も本委員会は継続して、議会基本条例の運用に関する具体的な内容を協議していきたいと思います。これに伴い、閉会日の委員長報告については、本委員会の最終報告ではなく経過報告として行いたいと思います。以上で、協議事項については終わりたいと思います。

次に、その他にうつります。委員の皆さん、また事務局より何かありますか。

◎委員（川辺 隆）

各常任委員会（部会）が10日に開催されます。その中で、意見交換会の内容について委員から聞き取りを行います、そういう運びでも良いですか。

◎委員長（戸匹映二）

本委員会は、これから議会基本条例の運用に関して、方針だけではなく具体的な内容についても協議を行っていくわけですし、せっかく今度常任委員会がありますので、そういう機会を逃さずに1歩でも進めて行きたいと思います。

どこを対象に意見交換会をするのか、ぜひ常任委員会でご協議いただきたいと思います。

◎委員（内藤康弘）

今の流れから行くと、テーマを1つ決めて各常任委員会で市民の意見を聞くというように理解したのですが。それで良いですか。

◎委員長（戸匹映二）

そうですね。テーマを具体的に決めて行うということです。テーマなしでやると要望の場になってしまうので。これは良いとか悪いとかいうものではなく、やってみないと分からないので、これをやっていこうということで決めていただければと思います。

◎委員（大塚州章）

やった内容を委員長報告としてするのは難しいので、特別委員長が経過報告に入れるというのも一つ励みになるかもしれません。

◎議長（梅田徳男）

議会活動の1つとして常任委員会の活動がありますので、意見交換の前に議会の報告をするというような枠組みが、ある程度必要だと思うので、そこは委員の皆さんで協議したいと思います。その上で具体的な委員会活動をしていただければ良いと思いますし、最後に委員会でもまとめたものが市長への提案まで繋がれば良いし、皆さんに報告するものがあれば、

それぞれの委員会で特長のあるまとめ方で構わないので報告して頂きたいと思います。

◎委員長（戸匹映二）

皆さんの活動を広報するという点もありますから、その方法も合わせて考えていきたい
と思います。それでは、今度の各常任委員会で意見交換会のテーマを協議してください。

次の委員会の日程はまた事務局と詰めた後、お知らせをします。

◎委員（川辺 隆）

議場コンサートを是非やりたいのですが。

◎委員長（戸匹映二）

それも一つの案として、この委員会で協議していきましょう。それでは、以上で特別委員
会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後4時58分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和5年3月7日

議会活性化検討特別委員会
委員長 戸匹映二